

もみじ福祉会 ニュース

がんばるうや

2002年9月 第31号

発行/社会福祉法人

もみじ福祉会



知的障害者授産施設(通所) 第一もみじ作業所
身体障害者通所授産施設 第二もみじ作業所
グループホーム つばさ・たんぽぽ
〒730-0823 広島県広島市中区吉島西2-1-24
TEL(082)243-0331 FAX(082)243-0497
HP: www.fukushi-momiji.or.jp

もみじ福祉会の目指すもの(冊子)

私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組みます。

1. 仲間(利用者)の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
2. 地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
3. 事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
4. これらの実践の要となる、職員の、障害や発達保障、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。



みんな熱唱しています



たかだいゆうじさん 30周年コンサート

1200人の観客を前に...

身障ホーム・グループホーム建設
夢の実現へむけて

アステールプラザ

コンサートで訴える

去る七月十九日(金)にもみじ福祉会後援会・夢作り応援団の団長を引き受けていただいた高田龍治さんの「歌作り三十周年記念コンサート」が開催されました。このコンサートはプロ歌手の太田真希さんをはじめ全国のJRの歌ごえ仲間や広島島の歌ごえ仲間など多くの方の出演で、高田さんの親交の広さを改めて知ることができました。もみじ作業所も「身障ホーム・グループホーム・地域交流スペース合築施設」建設の夢を託した「チャレンジ」や「夢トピア」など5曲を歌いました。高田さんともみじ作業所の出合いは、無認可時代、法人化運動を推進するために行った「ともだちコンサート」を開催する時で、親切に相談にのっていただき、テーマ曲の「ともだち」をはじめ「がんばるうや」などたくさん

ケアプラン作成進む!

平成十二年十一月から身障ホーム・グループホーム合築施設の設計に向けて、車椅子の仲間にもモニターになってもらい、設計士や関係者の方々と打ち合わせを始めました。それを参考にしながら、今年の四月から実設計に向けて入所希望者とその保護者、井上所長、また広島大学の八田先生からのアドバイスを受けながら、各自のケアプランを作成するために四か月にわた



たかださん ありがとうございます

の歌を作曲していただきました。「ともだちコンサート」は、仲間や保護者、職員が詩を書きそれに曲をつけていただき、仕事の紹介や法人化の取り組み、仲間の夢や願いなどを歌にし、もみじ作業所の法人化運動のシンボルの取り組みでした。その高田さんの記念コンサートの舞台上に立てて、さらに支援の輪の広がりをもつ事もできたと思います。また、このコンサートの収益の一部を「身障ホーム・グループホーム・地域交流スペース」建設に寄付していただきました。本当にありがとうございました。

ってアセスメントを行いました。ある仲間から「早くホームができたらいいなあ。みんなと楽しく生活したいよ。」という、ホームの生活を早くから楽しみに行っている声が聞きました。仲間の家庭での様子は一人一人異なり、また保護者の介護のやり方も違って実には要領を得たやり方を知ることができました。また、車椅子の仲間の家庭では、いかに短時間で着替え、排泄、洗面、食事、入浴を済ませているか、保護者の介護力を考

もみじ100人太鼓 開催決定!!

12月15日(日) 15:00~ アステールプラザ中ホール

後援会・夢づくり応援団では「身障ホーム・グループホーム・地域交流スペース」建設の資金作りを行っていく中で、さらに運動を大きく広げていく力にしていくなにも、何か大きなイベントをやりたいという話を重ねてきました。

そこで、職員の太鼓サークルを指導して下さっている、太鼓センターの大野さんに相談したところ、プロ太鼓演奏家の今福優さんと太鼓サークルを紹介していただきました。そして、一度お会いし、話をさせていただいたところ、今福さん



今福さん「その調子!!」

もみじ100人太鼓とは、もみじの仲間・親・職員そして今福さん・慈音・その他の太鼓サークルの人たちでステージに上がり、多くの人に私たちの思いを太鼓を通して表現するものです。ぜひ見に来てください。

えると本当に感心してしまいました。各自の家庭での生活を大切にしながら、ホームではどこまで援助できるかが大きな課題だとも感じました。

家庭と同じようにゆとりのある生活を送るには、まず世話人の拡充がぜひとも必要であり、「ホームは施設ではない」という特徴をもったホームにしていかななくてはいけないと強く思いました。

(倉橋 玉実)

身障ホーム ・ 私たちの夢を応援して下さい

グループホーム

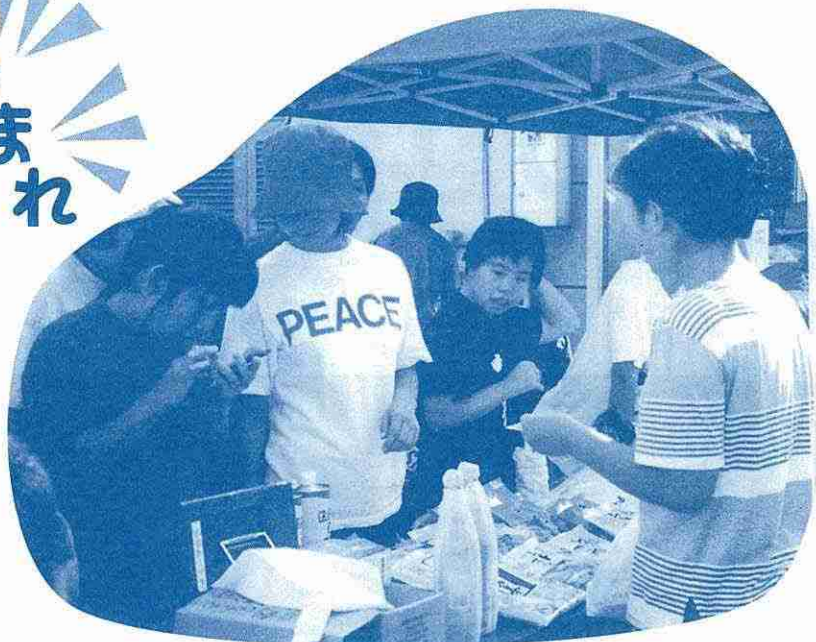
夢づくり応援団

2億円の資金づくりにご協力をお願いします。

- 寄付 個人 1口 3,000円
- 団体 1口 10,000円
- 作業所に持参して いただいてもOKです。

★郵便振替 口座 夢づくり応援団 番号 01350-5-19452

毎月第一水曜日に作業所横で開催している地域販売も二〇〇二年九月で三〇回を数えました。この地域販売は、地域の人たちにもみじ作業所のことをもっと知ってもらい、ふれあいを深めたいということで、印刷・販売グループの仲間たちが中心になって企画しました。



「おつりをまちがえないでね！」
「はい、ちゃんと計算します！」

ました。その他、さをり織り・縫製の商品、夏はTシャツ・冬はカレンダーなどの印刷グループのオリジナル商品やヘルシーな仕入れ商品(お菓子やブドウ油、出しの素など)がにぎやかに(お店には)並びます。

しかし、商売はそう甘くはない現実もあり、当初に比べると新鮮さもなくなつたのか、お客さんが減る傾向が出てきていました。

昨年からは、お茶席・たこ焼き・古着・古本コーナー・喫茶コーナーなど季節を考慮した企画も組み、マンネリにならないような工夫も行っています。これからもいろんな工夫を重ねながら地域の人たちとふれあえる「地域販売」を五〇回、一〇〇回と回を重ねて充実させていきたいと思っています。地域の皆様、これからもよろしくお願ひします。

地域販売でのふれあいがきっかけで、普段道で出会う「今日はどこに行くんね?」「元気ね?」と声をかけて下さる方が増えました。

「いらっしやいませ~」
「どうぞ~!!」



あつまれ

めじるしは

みどりのテナント

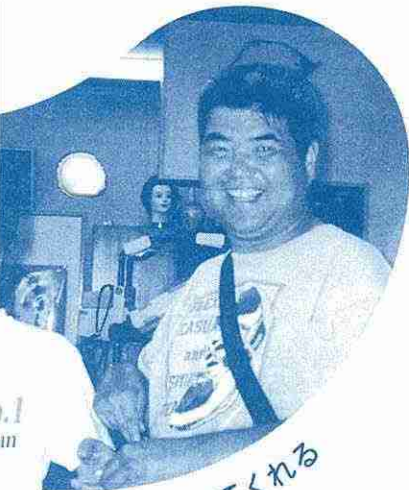
地域のふれあいを求めて

地域販売レポート

パンに、クッキー、食品...
かっこいいみや!



さん、
とうございま〜す。



たくさん注文してくれる
さん。
んが配達です!



ポレポレ
がたんぱっごますー!

おひさまネット 三堂 真起子さん



ジャンボ! (スワヒリ語でこんにちは) おひさまネットはアフリカのケニアにあるマトマイニチルドレンズホームという孤児やストリートチルドレンのための施設を支援しているグループです。

その後、月に一回地域のかたがたの注文をとりまとめ、共同購入を続けてきました。「材料が安心だし、形もきれいで美味しい」とみなさんの評判も上々です。この共同購入で得られる収益はマトマイニの支援金として送らせてもらっています。もみじの仲間が作ったクッキーが遠くアフリカの子ども達を支援している...その橋渡しをさせてもらえることをとても嬉しく思っています。

先日私達が住んでいる佐伯区の観音台公民館でもみじの仲間のミニ絵画展を開きました。ちょうどその時帰国されていたマトマイニの院長菊本照子さんにも絵を見て頂くことができ、「いつかマトマイニの子どもたちの絵ともみじの仲間の合同絵画展を開きたいですね」と夢がふくらみました。

もみじ作業所とおつきあいは七年前になります。知人から「クッキーを食べてもみじの仲間を応援しない?」と声をかけられ「えっ!クッキーを食べることが応援になるの?」と本当にこんなおいしい話はないと、飛びついたのであります。

七年前、おひさまネットのメンバーは作業所のことをほとんど知りませんでした。この七年間、おひさまネットの活動は、本当に細々としたもので、合言葉の「長く続けよう!」がよりどころです。これからはポレポレ(スワヒリ語でぼちぼち)のペースですが、どうぞ宜しくお願いします。

おひさまネットの活動は、本当に細々としたもので、合言葉の「長く続けよう!」がよりどころです。これからはポレポレ(スワヒリ語でぼちぼち)のペースですが、どうぞ宜しくお願いします。

鈴木康博さん画「原爆ドーム」

社機器や情報機器等)などの相談に応じます。

でどうぞ
除く)



スキルUPを目指せ!

研修報告

広島市授産振興センター主催
「新しい仕事興し」
に参加して

七月二十九日(月)に広島市授産振興センター主催の「新しい仕事興し」という研修会に職員二名と仲間一名で参加しました。講師に社会福祉法人ひびき福祉会社会就労センターハイワイクひびき施設長・亀井 勝氏の講演がありました。

【講演の内容】

ハイワイクひびきでは高い給料を目指して洋菓子作りをしています。顧客もいて月に一人三万円程度の給料が支払われていると報告がありました。高い給料を目指すには良い商品を作り、リピーターを一人でも多く増やしていく、そのためには手間を惜しまず一つ一つの材料にこだわる必要があると言われていました。実際にハイワイクひびきでは洋菓子に入れるレモンを農家の人にお願ひしてほとんど無農薬に近い状態で栽培してもらっているそうです。また、そういったこだわりを販売するときにお客さんに知っていただけたら、お客さんも必要と言われていました。

もう一つこの講演で物づくりをする際に福祉だからという考えは捨てたほうがいいと言われていました。縫製品など少し縫い目があるのがいい。「利用者の方が作った物だから」ではなく「利用者の方が作ったものだからこそきちんとしたものを作って市場に出していく必要がある」と強く言われていました。また、職員として利用者の作った商品に誇りをもてるように取り組んで欲しいと言われていました。感想として作業所職員も職人魂をしっかりと持っていく必要があると感じました。また、一つの商品をつくる際には自分たちだけで考えていくのではなく、口の方やさまざまな分野の方たちといるような角度で検討していく必要を感じました。

一緒に仕事をした職員もお付き合いの買物にならないように商品の工夫を強く感じたとのことでした。(田中 茂雄)

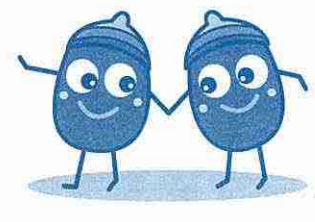
全障研広島県支部総会 記念講演 「どうなる!障害者福祉」を聞いて 講師・二宮厚美先生(神戸大学教授) 二宮先生は戦後からの福祉の動きの中で、支援費制度についてお話しされました。まず、福祉というものは福祉三原則(公的責任・必要充足・全国公平)のもと、公金・公営で経営され、憲法第二十五条(生存権)に基づきすべての国民一人一人に平等にサービスが提供されるように実施されるべきであるということでした。しかし現在進行中の基礎構造改革のもとでは、この公的責任が大きく後退しようとしています。支援費制度は「利用者が事業者と対等な関係に基づき、自ら選択し契約する」と謳いながら、基盤整備の遅れている状況で公

「ご寄付 ありがとうございます ございました」

- 寄付● 広島ゾンタクラブ 林 秀樹 藤葉 忠彦 若林 早苗
- 物品寄付● 松下加代子 (はがき)

福社会日誌

6月	8月
2日 全通きらめきフェスティバル招待	1日 クッキーグループ施設見学
3日 東京佼成ウインドオーケストラ訪問演奏会	2日 国際福祉大学実習打ち合わせ
4日 西税務署調査	7日 地域販売デー
5日 もみじ作業所・地域販売デー	8日 仲間のボーナス支給式
6日 広島大学医学部見学来所	9日 海水浴
8日 無年金障害者訴訟第5回裁判	10~11日 クッキー作業室床塗装
8日 第6回もみじ福祉会後援会総会	12~17日 (夏休み)
10日 育成園実習生見学来所	24日 YMCAバザー出店
13日 文教女子大実習開始2W	25日 中区保健センター子ども祭り出店
13日 クラブ活動②	28日 舟入小学校教員見学来所
27日 防災(通報)訓練	28日 広島女子大実習開始(〜9/13)
28日 徳永詠一君葬儀	29日 市立養護学校保護者事前見学
	30日 ポリシヨイサーカス招待
7月	
3日 歯の衛生学習(生協歯科ひろしまより)	
4日 大野町社協より見学来所	
4日 知的障害者生活自立訓練入所式	
9日 地域販売デー	
11日 緊急評議員会	
11日 クラブ活動③	
12日 瀬野川中学校より体験実習に来所	
19日 たかだりゅうじコンサート出演	
24日 楠那中学校職員見学来所	
26日 水登さん見学来所	
27日 全館害虫駆除作業	
29日 大内宏後援会長葬儀	
30日 川崎医療福祉大学より見学来所	



焼きあおいへ

ご近所の常 いつもあ

販売担当の泉本寿範さんにインタビューしてみました。

私は地域販売が、始まった当初からずっと出ています。始まった当初はお客様も、たくさん来て頂いていましたが、ここ最近はお客様はだんだん少なくなっています。このような状況から脱却するために事務局の人たちが色々なことを考えて行っています。皆様も、もみじ作業所の地域販売に今後ともご協力・ご支援をお願い申し上げます。

地域販売は...
毎月
第1水曜日
きてね~!

もみじ福祉会 障害者(児)相談援助事業

もみじ福祉会はこれまでも障害者の方々の要請に応じて、が、この度、もみじ福祉会の擁する人的資源の活用による一自事業として、障害者の方々のための相談援助事業を開始。お気軽にご相談下さい。

- ＜相談内容＞
 - 社会資源の活用のための諸相談(福祉制度・施設利用)
 - 教育問題
 - 生活上の悩みや諸問題
 - 住宅改造(ピアカウンセリングも実施します)
- ＜相談受付＞ 電話(082-243-0331)、来所、あるいはEメール(info@fukushi-momiji.o)
- ＜受付時間＞ (当面)月曜~金曜、9時~17時(Eメール)
- ＜利用料＞ 原則として無料。実費を要する場合は実費。尚、個人情報の扱いには充分配慮します。

MOMIJI インフォメーション

もみじオリジナルカレンダー

仲間の作品がいっぱいつまっています!!

発売

無年金障害者問題 一歩前進か?! 坂口(厚生労働大臣)試案出る!

去る八月二日、無年金障害者問題に対する坂口厚生労働大臣の試案が公表されました。一九九四年、衆参両院において「無年金障害者問題の早期解決を求める」附帯決議がなされて八年、ようやく、所轄庁のトップが、公式に、無年金障害者問題が放置できない問題であること、その解決のために新しい制度を作る必要性を認めたと、運動の大きな成果だと言っています。

しかし内容的には、当事者として認めがたい、いくつかの問題点を含んでいます。

私たちは、坂口厚労相の試案に対して、少なくとも、次のような二つの要求を持っています。

(1) 「施策に先立つて、無年金障害者についての詳細な実態調査が必要」としていますが、この調査にはかなりの期間を要することが考えられます。施策実施の実をあげるためにも、施策は、調査全体の終了を待たず、結論の出た分野から段階的に実施すること。

(2) 任意加入時の学生や主婦、保険対象外であった在日外国人など、法制度上の不備から生まれた無年金障害者の救済は、あくまでも、年金制度の名において実施すること。仮に、福祉的措置として救済する場合でも、支給額をはじめ、一〇〇パーセント障害基礎年金受給者と同等の扱いをすること。

「坂口試案」を受けて、八月二十七日には、全国の原告とその家族、支援者が厚生労働省前において、ピラ配り・リレートークを行いました。炎天下の中、お昼時間を挟んで三時間ほどの行動であったと聞いております。また、九月二日には無年金障害者の会、学生無年金障害者訴訟全国連絡会、障害年金改正をすすめる会三団体合同での厚生労働省交渉も行われました。そこらにも全国各地から原告、支援者が集まり、二時間に及ぶ交渉があつたと聞いております。迅速で適切な救済措置を図るために、早急に具体的な計画を示すよう要求を出したそうです。

一〇月七日には学生無年金障害者訴訟全国連絡会の厚生労働省交渉が予定されています。そこでこれだけの具体案が示されるか、注目したいところです。

支援費制度

情報

九月十二日に、全国担当課長会議があり、支援費制度の支給額や扶養義務者の考え方、利用者負担額などが示されました。

支給額には、重度加算という考え方がなくなり、「施設訓練等支援費」については三分区、一居室支援費については支援内容によって二区分ないしは三分区に分けられ、地域格差も加味し

支給額等示される

九月十二日に、全国担当課長会議があり、支援費制度の支給額や扶養義務者の考え方、利用者負担額などが示されました。

支給額には、重度加算という考え方がなくなり、「施設訓練等支援費」については三分区、一居室支援費については支援内容によって二区分ないしは三分区に分けられ、地域格差も加味し

利用者も事業者も大変!

九月十五日にもみじ作業所・もみじ福祉会後援会・夢作り応援団主催の「青年・成人障害者の自立を考える」をテーマとした講演会とシンポジウムが開

て支給額が決定されるようです。国は今までと遜色ないものをと分の判定の仕方によっては減少する施設もあるのではないかと考えられます。

また、現在措置費で運営している施設は、一年間の移行期間には三分分の真ん中にあたるBランクの支給額が当面の支援費額として決められるようです。これでも、もみじ作業所の平成十三年度の措置費額よりかなりの減額となりそうです。いずれにしろ判定の仕方による支給額決定が施設運営を大きく左右する事は間違いありません。

(1) 来年度の概算要求で支援費関係の概算要求は、前年度比の一〇〇・三％というわずかの増で、措置費額の自然増分を考えれば減額といえること。

(2) 利用決定過程において国の財政縮小と市町村の裁量に依拠される中で、

① 支援費の案内が、現行の利用者のみの個別案内としており、申請の抑制が図られようとしていること。

② 利用者側が具体的・現実的なサービス利用計画を持っていないと申請しがたいこと。

③ 障害程度区分の聞き取りの段階で、財政抑制の視点で判定されると重度の人も区分判定が低くなること。

(3) 実際にに複数の施設職員が、ある利用者の障害程度区分の模擬判定を実施した時、点数の開きが生じたことや、集計した結果、重度の手帳所持者の数名は点数が下がり判定がBランクに入ったこと。

(4) 何年か作業所に通って来ると、重度の人にも仕事に向かう力が付いたり自立にむけて獲得した力が、判定を軽くするという皮肉なことも起りうること。

(5) また、グループホームを利用しながら、短期入所事業を利用できるなど柔軟に制度が使える一方、事業者はたくさんメニューを持たないと補助金が得られなくなること。など多くの指摘がされました。

いよいよ福祉の理念と、現実の経営というシビアな面での葛藤が始まるのかと思うと複雑な気持ちになります。

後援会コーナー

2002年度、後援会費を納入頂いている、個人・団体の皆様 (8月末まで、敬称略)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|-------------|-------------|----------|------------|------------|------------|------------|
| 桑原悦子 | 藤田準二 | 山田竜也 | 栗田朱美 | 日尾敏光 | 繁村伴光 | 藤田久子 | 中島郁子 | 藤田忠彦 | 堀内世彦 | 丸山和幸 | 加藤寛治 | 秋田理枝 | 鈴木賀子 | 香川一子 | 熊谷松美 | 林本雅三 | 岡田信三 | 岡田信三 | 常田弘典 |
| 佐々木正子 | 中野芳子 | 吉田浩士 | 藤田浩士 | 井上靖亮 | 山崎章弘 | 中島幸吉 | 池田美智恵 | 池田利美 | 井上代子 | 渡辺平夫 | 湯谷和音 | 東文雄 | 吉田文雄 | 迫田文雄 | 高田文雄 | 赤木文雄 | 岩崎文雄 | 木村文雄 | 片山文雄 |
| 小谷恵美子 | 川村夏子 | 堀田哲一郎 | 近江晃史 | 近江晃史 | 勝田和恵 | 高木郁子 | 泉悦子 | 福本悦子 | 二階堂邦子 | 前田佳子 | 倉橋佳子 | 川口芳也 | 寺本芳也 | 飛田和義 | 南利和 | 林孝之 | 斎藤孝之 | 高橋孝之 | 中川孝之 |
| 上田みどり | 滝沢のぼる | 高島安邦 | 福田治彦 | 出口多恵子 | 戸村由美子 | 戸村由美子 | 藤井麻里 | 河合久志 | 水本孝行 | 荒井孝行 | 成林孝行 | 谷田孝行 | 清水孝行 | 上田孝行 | 大内孝行 | 濱田孝行 | 原田孝行 | 坂井孝行 | 岡田孝行 |
| 西本克枝 | 坪越勝彦 | 河中正行 | 深見俊明 | 森脇圭司 | 竹上聖貴 | 村上聖貴 | 大津恵子 | 坂原美也子 | 鈴木朝幸 | 福川朝幸 | 宮迫朝幸 | 宮迫朝幸 | ひかり協会職員労働組合 | ひかり協会職員労働組合 | 日本旅行広島支店 | 藤田エンジニアリング | 藤田エンジニアリング | 藤田エンジニアリング | 藤田エンジニアリング |

もみじ作業所 支援バザー

10月5日(土) 13時~16時

会場: もみじ作業所

※駐車場は、ありせんので、両かじの 333 まで。

以下に、10月21日(月) 19:00~

もみじ福祉会後援会 臨時総会 開催要領

〈日 時〉 10月21日(月) 19:00~

〈場 所〉 もみじ作業所 会議室 (広島市中区吉島西2-1-24 TEL 243-0331)

〈議 案〉 会長役員選出、その他

夢づくり応援団

へのご寄付 ありがとうございます。

(2002年4月1日~8月31日まで 敬称略)

新川幸雄	梅本三建	南優澄子	土谷橋裕文	津由子	田畑君秋	河野千鶴	田畑美佐江	野川節子	木戸央	丸下玲子	中川繁子	匿名がんぼ	土井(吉田知人)	土井(新江さんより)	吉田薬局	二井屋田伸子	田辺操子	浜野良	塚本ツヤ子	植田陽子	林田久美子	岸本邦三	初枝	平野次子	宮崎義則	高東新
神田邦和	中田裕巳	長市正彦	長市昌代	長市法子	森本巧	阿武正毅	井上一成	市社協ボラセンター	武田ヨコ	東木の實	吉崎朝美	吉崎信子	吉崎成敏	後藤隆	後藤敏	名倉裕	自治会ひまわり会	後すみ苗	若林早苗	島山三						